

平成23年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費  
2項 企画費  
2目 計画調査費

文化政策課（内線：7234）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
第9回とりアート（鳥取県総合芸術文化祭）開催事業	51,297	38,014	13,283				51,297	
トータルコスト	75,261千円（前年度67,059千円）〔正職員：3.0人〕							
主な業務内容	総合芸術文化祭の実施に向けた各委員会の開催及び連絡調整、広報、予算執行管理							
工程表の政策目標（指標）	上質な芸術文化の提供、気軽に参加・体験できる場の提供							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<p>県内の文化活動のすそ野を拡大するとともに、地域に根ざした創造性の高い文化芸術活動を育成し、特色ある地域文化の振興を図ることを目的に、県民自らの手による文化芸術の祭典として開催される「第9回とりアート（鳥取県総合芸術文化祭）」を実施する鳥取県総合芸術文化祭実行委員会に対して助成する。また、事務局を鳥取県文化振興財団に移管する人件費の措置についても併せて行う。</p>								
2 主な事業内容								
(1) 期 間 平成23年9月県展開幕日～11月末日（予定）								
(2) 場 所 とりぎん文化会館、倉吉未来中心、米子コンベンションセンター他県下全域								
(3) 実施主体 鳥取県総合芸術文化祭実行委員会								
(4) 主な事業内容								
区 分				内 容				
【メイン事業】 「八賢伝」  〔予算額 14,127千円〕				<p>◇地域に密着した題材や人材を活用して質の高い作品を提供するため、2年間かけて作品を制作する。</p> <p>◇平成23年度は、本番年度であり、舞台制作は県文化振興財団に委託。 （平成23年10月16日：倉吉未来中心大ホール）</p>				
【アートマネージャー育成事業】 〔予算額 4,500千円〕				◇鑑賞者に魅力的な文化芸術の鑑賞機会を提供するとともに、県内の文化芸術活動を支える人材「アートマネージャー」の育成と活用をめざす。				
①キラリ☆アートプロジェクト				アートマネージャーの人材育成を目的に全県より2事業の企画を公募（再演も可）し、公開審査により選定。採択された企画を実行委員会が提案者に委託し実施。				
②各地区へのアートマネージャーの配置				実践できる活躍の場を提供するとともに、各地区事業の充実と円滑な実施のため配置。				
【各地区企画運営委員会自主企画事業】  〔予算額 7,010千円〕				◇各地区会場において、県民が気軽に文化芸術を体験、鑑賞できる機会を提供し、文化芸術のすそ野の拡大を図る。 また、会場外にも出向き文化芸術普及活動も行う。 ①公募により県民が実施する参加体験型事業 ②各地区企画運営委員会が自ら行う事業				
【広報費、運営事務費】 （実行委員会、評価委員会及び事務局運営費） 〔予算額 10,798千円〕				◇各地区企画運営委員会及び全体広報 ◇市町村の地区企画運営委員会への参加と広報紙を活用したPRの連携 ◇実行委員会、評価委員会及び事務局の運営に要する経費				
【事務局移管に係る人件費】  〔予算額 14,862千円〕				◇24年度までに事務局を段階的に県から県文化振興財団に移管する。 〔新〕正職員1人、非常勤職員1人 〔継続〕非常勤職員2人、臨時職員（3か月）2人 （移管内容） ・平成22年度：中部・西部地区企画運営委員会事務局 ・平成23年度：東部地区企画運営委員会事務局 ・平成24年度：県総合芸術文化祭実行委員会事務局				
※アートマネージャーとは：文化芸術に関する事業において、円滑な事業実施をプロデュースし、地域を巻き込み、鑑賞者と活動者双方へ働きかけながら、人材発掘やスタッフ・出演者等のコーディネーターなど、事業に係る幅広い業務を担う人材のこと								
3 これまでの取組状況、改善点								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・メイン事業は、十分な準備期間を設け、質の高い作品を2ヵ年かけて制作することとした。今年度は準備年度としており、来年度の本番に向けて作業を進めている。</li> <li>・各地区企画運営委員会主催事業も、アートマネージャーを設置し、地域と密着した各地区独自の活動も充実してきている。</li> </ul>								

平成23年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

文化政策課（内線：7843）

2 目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
第2回とっとり伝統芸能まつり開催事業（第47回郷土の民俗芸能大会）	8,902	9,911	△1,009	4,451			4,451	
トータルコスト	23,280千円（前年度24,433千円）[正職員：1.8人]							
主な業務内容	実行委員会の運営業務、開催準備、広告・宣伝業務、会計・契約・支出業務							
工程表の政策目標（指標）	「ほんもの」「価値あるもの」に気づくための働きかけ							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<p>地域で守られてきた伝統ある行事・芸能を次世代に引き継ぐための取り組みとして、地域伝統芸能の伝承並びに活用の気運を広げることを目的として、県内市町村（実行委員会を含む）が開催する地域のまつりやイベント（以下「まつり等」という。）と連携してとっとり伝統芸能まつりを開催する。</p>								
2 主な事業内容								
項目	内 容							
名 称	第2回とっとり伝統芸能まつり（第47回郷土の民俗芸能大会）							
開催時期	平成23年8月上旬（予定）							
開催場所	鳥取市（予定）							
内 容	<p>○県内伝統芸能功労団体賞表彰式</p> <p>○伝統芸能公演 10団体程度</p>							
事業主体	<p>とっとり伝統芸能まつり実行委員会</p> <p>メンバー：県・県教委・県内伝統芸能実践者・連携市町村</p>							
事業費内訳	<p>実行委員会負担金 8,170千円</p> <p>標準事務費 732千円</p> <p>合計 8,902千円</p>							
県と連携市町村との役割	<p>○県→地域伝統芸能を集めたステージ公演の実施</p> <p>○市町村→連携イベントでのとっとり伝統芸能まつり出演団体の活用、まつりのPR、実行委員会メンバーへの参画</p>							
3 これまでの取組状況、改善点								
<p>一昨年の日本のまつり・ととりの後継事業として、昨年8月に第1回とっとり伝統芸能まつりを開催、多くの来場者の方に伝統芸能のすばらしさを再認識していただいたとともに、出演団体の方々の伝統芸能継承活動及びその意欲の向上と団体の活性化につなげることができた。</p> <p>今後も継続して、県内伝統芸能の発展・継承のための発表の場を確保し、さらに多くの伝統芸能団体にスポットをあて、それぞれの団体が活力を持っていけるような仕組みづくりが必要。</p>								

平成23年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7134）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) アーティストリゾート推進事業	8,250	0	8,250				8,250	
トータルコスト	14,640千円（前年度0千円）[正職員：0.8人]							
主な業務内容	市町村・関係機関との連絡調整、実行委員会用務、補助金事務							
工程表の政策目標(指標)	アーティストリゾートの推進							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<p>本県では、豊かな自然・歴史・文化資源を活かし、IJUターンをされたアーティストや地域に根付いて高いレベルの芸術文化活動を行うアーティストと県民が芸術を介して活発に交流する「アーティストリゾート」を展開している。これまでの鳥取市鹿野町や岩美町の取組に加えて、新たな先進的な事例の支援を行うとともに、地域に密着した取組や人材育成についても支援を行う。</p>								
2 主な事業内容								
(1) 先進的な事例に対する支援								
鳥取市鹿野町（鳥の演劇祭）や岩美町（現代美術展）での取組に加えて、新たに県内外への情報発信が可能な次の事業の実施を支援する。								
ア ヨーロッパ人写真家による写真展								
ヨーロッパ人写真家が平成22年3月から4月に県内に滞在して撮影した写真の展示会を開催する経費を支援し、鳥取県の取組むアーティストリゾートを県内外に情報発信する。								
事業内容	ヨーロッパ人写真家写真展（場所 県博物館）							
実施主体	EUジャパンフェスト日本委員会、「日本に向けられたヨーロッパ人の眼・ジャパントゥデイ vol.12」写真展実行委員会（仮称）							
事業費	4,300千円のうち県補助金 1,500千円（定額）							
(2) 地域密着型の新たな取組等への応援								
ア アーティストリゾート創造補助金								
各市町村の地域で主体的に取組まれるアーティストと連携した地域密着型の文化・芸術を中心とした地域づくりや活性化に資する事業の実施を支援する。								
補助対象事業者	文化・芸術による地域活性化に取り組む団体							
補助率	2分の1（上限300千円） ※市町村間接補助金							
事業費	補助金 1,500千円（5件程度）							
イ アーティストリゾート企画人材養成補助金（単年度）								
アーティストリゾートを展開するためには、その活動団体を支える企画運営人材が必要であるため、新たに海外に向けて発信するような企画運営人材を雇用し、養成する団体に対して支援を行う。								
補助対象事業者	移住定住により文化芸術を中心とした地域活性化に資する事業を実施する団体で新たに企画運営人材を雇用し養成する団体 ※企画運営人材・・・展示会、音楽祭、演劇等の企画運営を行う者							
補助率	2分の1（上限1,750千円）							
事業費	補助金 5,250千円（3件程度）							
3 これまでの取組状況、改善点								
<p>本県では「アーティストリゾート」の取組として、平成20年度以降、芸術家や地域と連携して、鳥取市鹿野町では、「鳥の演劇祭」や「BeSeTo演劇祭」を、岩美町では「岩美国際現代美術展」を開催し、アーティストリゾートの先進事例として、実施している。</p> <p>さらに「アーティストリゾート」を進めるため、これまで取組のなかった地域での展開や市町村との連携による取組等を進める必要がある。</p>								

平成23年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7133）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
アーティストリゾート創造事業 （劇団付き劇場による地域創造事業）	7,000	7,000	0				7,000	
トータルコスト	10,994千円（前年度11,034千円） [正職員：0.5人]							
主な業務内容	市町村・関係機関との連絡調整、運営委員会用務、補助金事務							
工程表の政策目標（指標）	アーティストリゾートの推進							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<p>本県の豊かな自然・歴史・文化資源を活かし、IJUターンをされたアーティストや地域に根付いて高いレベルの芸術文化活動を行うアーティストと県民が芸術を介して活発に交流する「アーティストリゾート」の展開を促進する。</p>								
2 主な事業内容								
<p>鹿野・鳥の劇場が「劇団付き劇場」として、地域の活性化の拠点、文化・観光資源としてさらに定着するよう、劇団、地元住民、鳥取市及び鳥取県等の協働により運営・事業実施する。</p>								
拠点	鹿野・鳥の劇場（旧鹿野小学校・幼稚園）							
運営主体	鳥の劇場運営委員会 [実施体制・役割分担] ・NPO鳥の劇場（委員会運営、事業全体の実施） ・いんしゅう鹿野まちづくり協議会（地域体験事業等支援） ・鳥取市（施設無償貸与、運営事業費一部支援） ・鳥取県（運営事業費一部支援）							
実施内容	○鳥の演劇祭の実施 ⇒ 県民への鑑賞機会の提供 ⇒ 県内外への情報発信 >>> 特色ある観光資源 ⇒ 韓国等との交流 ○ワークショップ・出前講座 （劇団員、招聘アーティストによる出前講座・ワークショップ） ⇒ すそ野の拡大、教育分野への展開 ○周辺地域の体験事業 （三徳山・鹿野周辺の自然散策、紙すきなどの地域資源体験イベント） ⇒ 地域振興、観光への活用							
事業費	56,970千円（概算） <財源内訳> 文化庁助成 43,306千円 鳥取県 <u>7,000</u> 鳥取市 1,000 入場料、協賛収入 4,014 その他 1,650							
3 これまでの取組状況、改善点								
<ul style="list-style-type: none"> <li>アーティストリゾートを推進するため、平成20、21年度は、鳥の演劇祭開催事業として、県・市・鳥の劇場及び地元関係者等により実行委員会を設置し、鳥の演劇祭を開催した。平成22年度は、「劇団付き劇場」という新たな考え方を取り入れ、鳥の劇場運営委員会（事務局：鳥の劇場）を立ち上げるとともに、鳥の演劇祭を中心とした文化事業を実施した。これらの活動を通して県民への芸術の鑑賞機会を提供しているほか、劇場周辺の地域資源の体験事業を実施するなど文化を中心とした地域活性化の拠点として定着してきている。</li> <li>23年度は、「劇団付き劇場」として官民協働によるアーティストリゾートの拠点施設化の定着を目指した取り組みとして実施する。</li> </ul>								

平成23年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

文化政策課（内線：7134）

2 目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
アーティストリゾート創造事業（アーティストインレジデンス事業）	1,500	2,900	△1,400				1,500	
トータルコスト	3,098千円（前年度4,514千円） [正職員：0.2人]							
主な業務内容	関係市町村・団体等調整、実行委員会参画、補助金事務							
工程表の政策目標(指標)	アーティストリゾートの推進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

岩美町では、旧岩美病院をアーティストの作品制作のアトリエとして、旧医師公舎をアーティストの滞在施設として整備し、アーティストインレジデンス（滞在型現地制作）ができる環境整備がなされている。

平成22年度に引き続き、県、町、地元住民との協働による実行委員会を設置し、自然をテーマとした展示会をアーティストインレジデンスにより開催することとしており、その開催経費の一部を支援する。

2 主な事業内容

事業内容	○レジデンス（アーティストが岩美町に滞在し、作品創作現場を公開） ○展示会（テーマは山陰海岸ジオパークなどにつながるような自然を想定） ○ワークショップ（レジデンス期間中に学校と連携して実施）
実施主体	アーティストインレジデンス実行委員会（仮称） 〔体制〕 アーティスト（作品創作・交流会、ワークショップ実施等） 地元住民（創作活動支援ボランティア等） 岩美町（施設無償貸与、事業費支援、事務局運営） 鳥取県（事業費支援）
概算事業費	3,000千円 〔財源内訳〕 鳥取県 1,500千円 岩美町 1,500千円

3 これまでの取組状況、改善点

平成22年3月には、文化庁の地域文化芸術振興プラン推進事業を活用して、岩美町に国内外からアーティストを招聘して、国際現代美術展を開催し、県内外から約13,000人の観覧者があった。

また、平成22年9月には、引き続き県と町の負担金により、国際現代美術展を開催し、約6,500人の観覧者があったところ。

平成23年は、海外からの招聘アーティストと地元のアーティストや陶芸家等と連携した事業内容とし、アーティストリゾートの展開を促進するとともに、地域の文化芸術の推進を目指す。

平成23年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7839）→事業実施：観光政策課

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考										
				国庫支出金	起債	その他	一般財源											
(新)メディア芸術振興事業（とっとりアニカルまつり開催支援事業）	11,403	0	11,403				11,403											
トータルコスト	14,598円（前年度0千円） [正職員：0.4人]																	
主な業務内容	会議等出席、補助金事務、事務局との調整、関係機関との調整																	
工程表の政策目標（指標）	裾野の拡大と頂点の伸長																	
事業内容の説明																		
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>今、若者を中心に高い人気があり、まんがとも関わりの深いアニメ系カルチャー（アニカル）を活用した取組に対して支援することにより、地域に新しい文化を創造し、地域を元気にすることや、2012年国際マンガサミット鳥取大会の盛り上げなど、「まんが王国とっとり」の建国をさらに進めようとするものである。</p> <p>2 主な事業内容</p> <table border="1"> <tr> <td>日時</td> <td>平成23年9月3日（土）～4日（日）</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>米子ビッグシップ</td> </tr> <tr> <td>実施主体</td> <td>とっとりアニカルまつり実行委員会</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>○展示関係（アニメ原画展、アニメーターによるトークイベントなど） ○舞台関係（アニメソングのど自慢、アニメソングコンサート、声優イベントなど） ○イベント関係（コスプレ、同人誌即売会、ご当地ヒーローショー（※）、企画喫茶など） ※ 三地直装イワシマン・白兔跳神イナバスター 等</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>18,428千円（県補助金11,403千円、米子市補助金（3,000千円）、入場料収入（4,025千円））</td> </tr> </table>									日時	平成23年9月3日（土）～4日（日）	場所	米子ビッグシップ	実施主体	とっとりアニカルまつり実行委員会	内容	○展示関係（アニメ原画展、アニメーターによるトークイベントなど） ○舞台関係（アニメソングのど自慢、アニメソングコンサート、声優イベントなど） ○イベント関係（コスプレ、同人誌即売会、ご当地ヒーローショー（※）、企画喫茶など） ※ 三地直装イワシマン・白兔跳神イナバスター 等	事業費	18,428千円（県補助金11,403千円、米子市補助金（3,000千円）、入場料収入（4,025千円））
日時	平成23年9月3日（土）～4日（日）																	
場所	米子ビッグシップ																	
実施主体	とっとりアニカルまつり実行委員会																	
内容	○展示関係（アニメ原画展、アニメーターによるトークイベントなど） ○舞台関係（アニメソングのど自慢、アニメソングコンサート、声優イベントなど） ○イベント関係（コスプレ、同人誌即売会、ご当地ヒーローショー（※）、企画喫茶など） ※ 三地直装イワシマン・白兔跳神イナバスター 等																	
事業費	18,428千円（県補助金11,403千円、米子市補助金（3,000千円）、入場料収入（4,025千円））																	
<p>&lt;参考&gt; 「とっとりアニカルまつり<sup>ゼロ</sup>」の開催</p> <p>※ 平成22年度にはアニメソングを主体としたイベントを開催</p> <table border="1"> <tr> <td>日時</td> <td>平成23年2月27日（日）</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>米子ビッグシップ</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>○アニメソングミニコンサート 鳥取県ゆかりのプロ歌手・声優によるトーク&amp;ライブイベント ○アニメソングアマチュア歌合戦 一般公募・抽選・前日審査により選出した、アマチュア16組による歌合戦</td> </tr> </table>									日時	平成23年2月27日（日）	場所	米子ビッグシップ	内容	○アニメソングミニコンサート 鳥取県ゆかりのプロ歌手・声優によるトーク&ライブイベント ○アニメソングアマチュア歌合戦 一般公募・抽選・前日審査により選出した、アマチュア16組による歌合戦				
日時	平成23年2月27日（日）																	
場所	米子ビッグシップ																	
内容	○アニメソングミニコンサート 鳥取県ゆかりのプロ歌手・声優によるトーク&ライブイベント ○アニメソングアマチュア歌合戦 一般公募・抽選・前日審査により選出した、アマチュア16組による歌合戦																	

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

文化財課（内線：7523）

2目 文化財保護費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)とっとりの文化遺産魅力発掘事業	1,586	0	1,586				1,586	
トータルコスト	3,982千円（前年度0千円）[正職員：0.3人]							
主な業務内容	プロジェクト会議・検討会の運営、各種イベント等の企画・運営							
工程表の施策目標(指標)	-							

事業内容の説明

1 事業の概要

妻木晩田遺跡、上淀廃寺、三徳山から近代化遺産（若桜鉄道・五臓圓ビルなど）まで、県内の優れた文化遺産を観光資源としても活用できるようその魅力の発信を行う。

また、現在はまだ文化財としては評価されていないが、琴浦町の「鰻絵（こてえ）」や、日野郡の「たたら」など地域特有の資源に光を当て、観光資源ともなる文化遺産の掘り起こしを行う。

2 事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	事業内容
文化遺産の魅力発掘プロジェクト会議	474	文化遺産の積極的な活用推進のため、市町村・NPO法人やボランティアガイドなどによる会議を観光部局と連携して立ち上げ、文化遺産を観光資源として活用し、地域活性化に向けた取組みを進めるためのマスタープランを検討する。
文化遺産の観光資源としての活用	89	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「とっとりレトロ」といったテーマを設けて倉吉玉川・智頭板井原などの歴史的な町並みや若桜鉄道・五臓圓ビルなどの近代化遺産をホームページなどで重点的にPR</li> <li>・妻木晩田遺跡周辺や歴史の道（古道）ウォークに加えて、法勝寺電車廃線などをたどるコースの設定を検討し、歴史遺産ウォークを展開</li> <li>・各施設相互研修によるその他ボランティアガイドの養成等</li> </ul>
観光資源となる文化遺産の掘り起こし	1,023	琴浦町などに伝承されている「鰻絵」や日野郡を中心に県内に多く見られる「たたら」の検証、山陰最古の駅舎「御来屋駅」など鉄道遺産の検討

3 これまでの取組状況、改善点

これまで有形無形の文化財について、着実に国・県指定、国登録を行ってきている。

これらの、文化遺産としての価値を評価するとともに、観光資源として有効に活用し、観光誘客にもつなげる取組みを推進する。